



さつきが丘 8.9月号 第349号

石コ賢さん

校長 仲川 由佳理

今年は、3年ぶりに行動規制のない夏休みを迎え、ご家族で遠くへ出かけた方がいらっしやっただのではないのでしょうか。私も、久しぶりに東北、秋田の実家に帰省しました。しかし、東北自動車道はとにかく長い・疲れる…で、岩手県花巻市の大沢温泉地区で一泊しました。

この花巻は宮沢賢治の生誕の地で、「石コ賢さん」とは、宮沢賢治につけられていたあだ名のようなのです。私も、「石拾いの仲川」と小学生の頃呼ばれていましたが、別段気にすることはなく、むしろ嬉しかったものです。地学を教える父親が露頭探しする後と一緒に歩き、変わった石を拾っては、その度に先生や友達に話をしていたからです。宮沢賢治の魅力については人それぞれですが、私の場合は作品の中に知っている鉱物の名前が出てきたり、彼の綴る文章から東北の広大な風景が浮かんできたりするので、本当にじっくりくる作者です。6年生を担当した際に、子どもと一緒に宮沢賢治を熱く語ったのを今でも思い出します。彼の名付ける『イーハトーブ』や『イギリス海岸』は、今も健在でした。

さて、子どもたちには夏休み前に「今年の夏は、必ずあなたを成長させる」という話をしました。前述した、行動規制のない夏休みということもあり、昨年とは異なる過ごし方ができたのではないのでしょうか。五感を使って体験したことは記憶として残り、それ以降の自分を成長させる糧となっていきます。とにかく読書をしたり、思いっきり体を動かしたり、ひたすらゲームに取り組んだり…。自分が得意なこと、好きなことを改めて俯瞰してみることも成長の一つではないのでしょうか。そんな「自分らしさ」は、揺るがないものであってほしいと思います。

学校が再開しました。引き続き、子どもたち同士が「自分らしさ」を伝えたり認めたりという人間関係を構築できるよう、全職員で子どもたちの健やかな成長を見守ってまいります。今後とも、よろしくお願いいたします。

